

ABC

Asahi Broadcasting Corporation

会社案内



第 **87** 期
事業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

朝日放送株式会社

社長メッセージ ～“朝日放送グループ”だからできること～

当社は、1951年の創立以来、テレビ・ラジオの放送にあたり、「平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくすこと」、「社会の信頼にこたえ、真実を正しく伝えること」、「良識と知性を高め、楽しさと安らぎの番組を放送すること」などを信条に、基幹メディアとしての役割を果たすべく、コンテンツの制作に注力してまいりました。

企業として求められるコンプライアンスの遵守はもちろん、マスメディアの一員として、より高い倫理観を保ち、皆さまから信頼していただけることを常に事業の根幹に置いております。その上で、激しく変化するメディア環境にスピーディに対応し、朝日放送グループ一丸となって経営基盤の一層の強化と企業価値の更なる向上を目指しております。

2012年、私たちは「みんなで作る中計」を謳い、「グループ中期経営計画2012-2014」を策定しました。その際に、社員からの発案により、当社の「ありたい姿」として設定したのが「朝日放送 10年ビジョン」です。

朝日放送 10年ビジョン

A. 「関西ナンバーワン、世界へ」

関西に根ざし、世界に向かって総合的な文化と情報を発信するリーディングカンパニー。

B. 「家族をつなぐエンターテイナー」

親しみやすく、信頼されるコンテンツで人をつなぎ、地域をつなぎ、家族をつなぐ。

C. 「OPEN↑楽しいABC！」

情報共有された、愛のあふれるオープンな会社。

私たちは、この3項目からなる「ビジョン」達成を目指し、「ありたい姿」の実現に向け、さまざまな取り組みを行っております。「朝日放送10年ビジョン」は、当社の歩むべき道程の“羅針盤”であり、無限に広がる「朝日放送グループ」だからできることへの挑戦でもあると考えています。

おかげさまで、増収増益……………

2013年度も、当社がお届けする番組やイベントが「家族をつなぐエンターテイナー」として、「人をつなぎ、地域をつなぎ、家族をつなぐ」役割を果たせたものと自負しております。

テレビ事業では、朝のベルト番組「おはようコールABC」「おはよう朝日です」、夜のローカル番組「ナイトinナイト」「探偵!ナイトスクープ」などが引き続き好調を維持しました。安定した「みんなの家庭の医学」「大改造!!劇的ビフォーアフター」に加え、新番組「世界の村で発見!こんなところに日本人」がゴールデンで定着しました。結果、2013年度平均視聴率において、ゴールデン、プライム、プライム2の3区分で前年度に引き続き「関西ナンバーワン」の地位をキープ、「視聴率三冠」を獲得しました。好調な視聴率を背景に広告収入も順調に伸び、テレビスポット収入においては6年ぶりに在阪4局のトップシェアを奪還、セールス面でも「関西ナンバーワン」を実現しました。

ラジオ事業は、リスナーの皆さんに“寄り添う”メディアとしてラテ兼当局の強みを活かし、取り巻く環境が厳しい中、前年を上回る売上げとなりました。

イベント事業も躍進、大型音楽イベント「サマーソニック2013大阪」や金魚とアートのコラボレーション「アートアクアリウム展」などが大成功を収め、過去最高の売上げを記録しました。また、番組やアナウンサーと直接触れ合っただく場として当社社屋で開催した「ABC感謝祭 マイド

ほたるまち!には、5月の連休、3万人を超える「ABCファン」にお越しいただきました。「OPEN↑ 楽しいABC!」を合言葉に、地域社会に開かれた会社を目指し、“肌感覚”の触れ合いを今後も重視してまいります。

当社個別の業績は増収増益となり、売上高経常利益率も前年度6.8%をさらに上回る7.0%となりました。連結でも、放送事業に加えハウジング事業、ゴルフ事業の伸びが寄与し、増収増益となりました。個別・連結共に、営業利益、経常利益は、4期連続の増益となりました。「グループ中期経営計画2012-2014」の2年目として、よいご報告ができることをうれしく思っております。

“世界へ”の取り組み

当期は、「世界へ」と打って出る戦略をさらに一歩進めました。海外への「番組販売」にとどまらず、番組のアイデアを売る「フォーマット販売」への取り組みです。

ベトナムの放送局HTVへの「新婚さんいらっしゃい!」のフォーマット販売もその一つです。イギリスの番組制作会社とも共同開発を行い、番組のアイデアを世界へ向けて販売を開始しています。「世界へ」の取り組みは、新たなフロンティアへの挑戦です。土壌を耕し、種をまき、将来の大いなる収穫となることを目指しています。

未来志向で“100年企業”へ

「スマートテレビ」や「ハイブリッドキャスト」など次世代の放送や新しい視聴形態に向けた研究開発を推進するための全社横断的組織を立ち上げ、未来志向のトライアルを開始しました。また、想定される南海トラフ巨大地震等の大災害時において、テレビ・ラジオの放送を継続し、必要な情報を正確にお伝えするための事業継続計画(BCP)も、しっかりと機能させるべく、更新を続けてまいります。そして

もちろん、コンテンツ制作に注力し、「視聴率四冠」の奪取を目指してまいります。

2014年度は、「グループ中期経営計画2012-2014」の最終年度にあたります。現計画の総仕上げを行い、同時に2015年度以降の経営計画を練り上げてまいります。

当社は、2年後に創立65周年を迎えます。さまざまな記念企画をお届けすべく準備を進めておりますが、65周年は“通過点”でしかありません。70周年、80周年、そして100周年を迎えるその瞬間もなお、進化を続ける企業でありたい——「朝日放送10年ビジョン」のその向こうに、私たちは“100年企業”の姿を見据え、全社・グループ一人一人の力を結集して前進してまいります。

今後共、「朝日放送グループ」だからできることにご期待いただき、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



代表取締役社長

脳 阪 聰 史

テレビ

年度視聴率ゴールデン、プライム、プライム2 3冠獲得!

年間視聴率では、2年連続の4冠達成!!

当期のテレビ視聴率は、全日帯が7.8%、ゴールデン帯が12.2%、プライム帯は12.8%、プライム2帯では9.5%で、ゴールデン、プライム、プライム2の三冠を達成しました。平成25年の年間視聴率では、2年連続の4冠を獲得し、開局以来初の達成となりました。

全日帯 (午前6時～午前0時)	7.8%
ゴールデン (午後7時～10時)	👑 12.2%
プライム (午後7時～11時)	👑 12.8%
プライム2 (午後11時～午前1時)	👑 9.5%

■ 当社発 ネット番組・単発番組は安定の視聴率を獲得!

ネット番組では、「たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学」が当期平均10.6%、「大改造!!劇的ビフォーアフター SEASONⅡ」が11.9%、4月からスタートした「世界の村で発見!こんなところに日本人」が12.4%と、いずれも安定した成績を残しました。

単発番組では、元日恒例の「芸能人格付けチェック! 2014」が19.7%と、前年に引き続き高視聴率を獲得し、1月10日に放送した新企画「明石家さんまのコンプレックスっ杯」は19.4%を獲得しました。



「世界の村で発見!こんなところに日本人」
毎週金曜 午後9時



「芸能人格付け
チェック!2014」

正月三が日に関西で
放送された番組の中で
最高視聴率を記録!



「明石家さんまの
コンプレックスっ杯」

コンプレックスを持った
芸能人たちがチームに
分かれてトーク。

■ 朝帯・深夜帯ローカル番組は高視聴率を継続中!

ローカル番組では、朝帯・深夜帯のベルト番組が好調で、視聴者の皆様から安定した支持を得ています。「おはようコールABC(1部)」が当期平均2.7%、「おはようコールABC(2部)」は6.2%、「おはよう朝日です」は10.3%と、高い視聴率を維持し、“関西の朝はABC”という地盤を揺るぎないものにしています。また、深夜の「ナイトinナイト」(月～木曜)枠は10.6%、「探偵!ナイトスクープ」(金曜)は17.1%を記録し、前の時間帯で平均13.9%の「報道ステーション」と合わせ、プライム帯7年連続トップ、プライム2帯12年連続トップの原動力になっています。

また、新企画開発ゾーンの日曜夜11時台では、4月から9月まで放送した「クイズ!バレルの塔」が7.4%、10月からスタートした「なるみ・岡村の過ぎるTV」が9.2%と、順調に成果を収めています。



「おはようコールABC」
毎週月～金曜 午前5時



「おはよう朝日です」
毎週月～金曜 午前6時45分



「探偵!
ナイトスクープ」
毎週金曜
午後11時17分



「なるみ・岡村の
過ぎるTV」
毎週日曜
午後11時15分

■ 大型スポーツ番組やプロジェクト特番を積極的に放送!

日本代表が本選進出を決めたサッカー「FIFAワールドカップアジア地区最終予選 日本×オーストラリア」や、楽天が初優勝したプロ野球「日本シリーズ・第7戦 楽天×巨人」が視聴率30%超を記録するなど、世間の高い注目を集めました。

さらに、全社を挙げて取り組んでいる地球環境問題をテーマにした特別番組「ガラスの地球を救え スペシャル」(5月6日放送)は当期で11回目になりました。また、子供の明るい未来を考えるキャンペーン「ABC子ども未来プロジェクト」では、特別番組「激論!教育・子育て～考えるオトナ」を3月7日に放送しました。

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ

ABCラジオは今後もリスナーに寄り添ったメディアを目指します!

当期のラジオ聴取率は、週平均(月～日 午前5時～翌午前5時)では、4月は1.1%、6月は1.2%、12月は1.0%でした。6月はFM802と同率首位を獲得。平日平均(月～金 午前5時～翌午前5時)では、4月と6月で1.2%、12月は1.1%となっており、4月がFM802と並んで同率首位となりました。

■ 充実した生ワイド番組を編成

4月からは月曜夜にスポーツ生ワイド番組「Monday! SPORTS-JAM」を新しく編成し、10月からは「武田和歌子のぴたっと。」を4時間の大型生ワイド番組にリニューアルしました。日曜夜の生ワイド「Cheers!」は、放送時間を3時間に枠大、さらに1月からは土曜夜に「俺達かまいたち」を生放送でスタートしました。



「武田和歌子の
ぴたっと。」

■ リスナーとの交流イベントは大賑わい!

毎年恒例の「ABCラジオまつり2013」を11月に万博記念公園お祭り広場で開催し、来場者は4万3千人を超えました。また同所で開催した3月の「ABCファミリースペシャル ABCラジオスプリングフェスタ2014」では、6万4千人を超える来場者を記録し、大盛況でした。



ABCラジオまつり2013

■ 番組コラボ商品が大人気!

5月に「桑原征平 粋も甘いも」とサークルKサンクスがコラボレーションして発売した「わが青春のお好みビフカツ重」と「人生しみじみねり天うどん」は、合わせて16万6千食を売り上げました。10月には「ドッキリ! ハッキリ! 三代澤康司です」がびっくりドンキーと組んで発売した「浪花紅しぐれハンバーグ」は5万7千食、また11月には「おはようパーソナリティ道上洋三です」がサークルKサンクスと組んで発売した「道上洋三の中華そば物語」は25万食を記録しました。



「桑原征平の粋甘食堂」

ボリューム満点ビフカツ重とこだわり細うどんに
ねり天がのった豪華ぶっかけうどん。

「道上洋三の中華そば物語」

道上洋三の学生時代の思い出が詰まった
中華そばの味を再現。



※聴取率は関西地区、ビデオリサーチ調べ

積極的な事業展開で大幅に利益拡大

春に京都市美術館で開催した「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」は、絢爛豪華なバロック絵画が人気を集め、14万人を動員しました。秋には神戸市立博物館で「プーシキン美術館展」を開催し、フランス近代絵画の代表作が並ぶ圧巻のラインナップで、62日間で18万3千人を集め、盛況でした。

恒例のロックフェスティバル「サマーソニック 2013大阪」は、洋楽と邦楽アーティストともビッグネームが揃い、観客総数は9万5千人に上りました。11月には、ポール・マッカートニーの11年ぶりの来日公演を京セラドーム大阪で主催し、7万人の観客を動員しました。また、前年度から始めた金魚とアートがコラボレーションした大ヒット企画「アートアクアリウム展」は、札幌で初開催し、14万人を動員しました。大阪も34日間で16万8千人を動員し、前年度の入場記録を大幅に塗り替えました。



「サマーソニック 2013大阪」
8月10日、11日開催。
大阪開催としては14年目にして初の両日ソールドアウト公演に。



ポール・マッカートニー
「アウト・ゼアー ジャパン・ツアー」
11月11日、12日に京セラドーム大阪で主催。



「アートアクアリウム展」
大阪は、2月6日～3月11日に
阪急うめだ本店で開催。

クラシック事業では、フェスティバルホールでの「佐渡裕&BBC・辻井伸行」など、大型公演を次々と成功させました。ブルガリアから招聘した弦楽オーケストラ「ソフィア・ゾリステン」は、全国22公演を行い、ANN系列11局にも利益をもたらし、当社の利益も予算を大きく上回りました。

出資映画では、日本アカデミー賞で作品賞を含む6冠に輝いた「舟を編む」や、「トリック 劇場版ラストステージ」、ベルリン国際映画祭銀熊賞(最優秀女優賞)を受賞した山田洋次の「小さいうち」、 「プリキュア・シリーズ」など良質な映画に出資しました。



「舟を編む」
©2013「舟を編む」製作委員会

商品化事業、出資事業、海外展開を順調に拡大

携帯・ネット事業では、拡大するスマートフォンユーザーに対する新しいビジネスを充実させています。人気番組「アタック25」「プリキュア」「家庭の医学」「夏の高校野球」の番組連動アプリは、KDDIの課金システムや広告収入などで年間1億円以上の売上げを記録し、大きな収益源に成長しました。

ライセンスビジネスでは、「プリキュア」の商品化、「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」の月刊テキストや関連本、雑誌「家庭の医学」、9月にリリースされた「ぱちんこ必殺仕事人 お祭りわっしょい」や関連商品などが好調で、ロイヤリティ収入は4億円以上に達しています。



「ハピネスチャージ!プリキュア応援アプリ」

新シリーズも公式アプリをリリース!
累計ダウンロード数25万件突破!

放送を見ると大好きな
プリキュアと一緒に写真がとれます。



auスマートパス「パネルクイズ アタック25」

「アタック25」40周年と
「虎バン」10周年を記念した
コラボステージ。

番組と同じようにクイズに
答えてパネルを獲得!



出資事業では、2月に大阪梅田に出店した「プリキュアプリティストア」が予想を上回る人気で、開店2ヶ月で累計売上げ6千万円を突破するなど、絶好調です。また、平成24年10月から取り組んでいる深夜アニメ事業では、7月に放送した深夜のTVアニメ「Free!」が好調で、平成26年も夏に「Free!」第2期の放送を予定しており、DVD関連や海外販売で収益拡大を目指します。

海外へのビジネス展開では、東南アジアを中心に番組販売を順調に継続中です。番組フォーマットは、「新婚さんいらっしゃい!」をベトナムに、「家庭の医学」を中国に販売することに成功しました。今後も引き続き、国際見本市などを通じて、当社の企画力を海外に発信していく取り組みを強化してまいります。



©ABC・東映アニメーション

Free!



©おおじこうじ・京都アニメーション/
岩倉高校水泳部

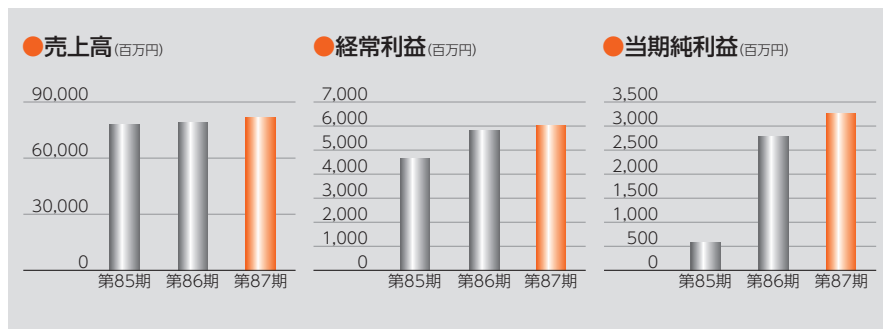
業績ハイライト

● 第87期連結業績

売上高 814億8千4百万円

経常利益 60億2千5百万円

当期純利益 32億5千4百万円



当社グループの売上高は、前年同期に比べ、26億3千6百万円(3.3%)の増収となりました。主力事業を展開する放送事業において、テレビスポット収入や催物収入が前年同期の実績を上回り、またハウジング事業とゴルフ事業の業績も貢献して増収となりました。

一方、費用面では、売上原価が22億7千1百万円(4.5%)増加し、販売費及び一般管理費も3億2千1百万円(1.4%)増加しました。経常利益は、2億4百万円(3.5%)の増益となり、当期純利益は4億8千万円(17.3%)の増益となりました。

すべて比較は前年比です。

● セグメント別 売上高

放送事業 707億3千9百万円

ハウジング事業 98億2千4百万円

ゴルフ事業 9億2千万円

● ハウジング事業

売上高は7億8千4百万円(8.7%)の増収となりました。首都圏での住宅展示場「戸塚住宅公園」や住宅設備関連の展示場「HDC大阪」がオープンしたことなどにより、増収増益となりました。

● 放送事業

テレビスポットの好調による増収に加えて、催物収入が大幅な増収となったことにより、売上高は17億8千1百万円(2.6%)の増収となりました。一方、CS放送の競争激化に伴って営業費用が2.9%増加したため、営業利益は9千5百万円(2.1%)の減益となりました。

● ゴルフ事業

売上高は7千万円(8.3%)の増収となりました。会員権の販売が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

すべて比較は前年比です。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	35,072	34,385
固定資産	62,761	59,600
有形固定資産	38,186	38,925
無形固定資産	402	552
投資その他の資産	24,172	20,122
資産合計	97,833	93,986
(負債の部)		
流動負債	12,536	11,202
固定負債	22,738	22,638
負債合計	35,275	33,841
(純資産の部)		
株主資本	57,927	55,223
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	49,518	46,814
自己株式	△ 500	△ 500
その他の包括利益累計額	698	1,271
その他有価証券評価差額金	1,485	1,271
退職給付に係る調整累計額	△ 787	—
少数株主持分	3,933	3,649
純資産合計	62,558	60,145
負債純資産合計	97,833	93,986

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	81,484	78,847
売上原価	52,353	50,081
売上総利益	29,131	28,766
販売費及び一般管理費	23,339	23,017
営業利益	5,791	5,748
営業外収益	417	293
営業外費用	183	221
経常利益	6,025	5,820
特別利益	57	—
特別損失	9	375
税金等調整前当期純利益	6,073	5,445
法人税、住民税及び事業税	2,063	1,617
法人税等調整額	403	778
少数株主損益調整前当期純利益	3,606	3,049
少数株主利益	351	275
当期純利益	3,254	2,774

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,350	6,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,934	△ 5,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,576	△ 3,385
現金及び現金同等物の増減額	1,838	△ 2,432
現金及び現金同等物の期首残高	14,932	17,364
現金及び現金同等物の期末残高	16,770	14,932

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	29,528	29,047
固定資産	48,210	46,314
有形固定資産	25,627	26,755
無形固定資産	304	476
投資その他の資産	22,277	19,082
資産合計	77,739	75,361
(負債の部)		
流動負債	10,381	9,162
固定負債	12,272	13,650
負債合計	22,653	22,812
(純資産の部)		
株主資本	53,609	51,282
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	45,200	42,873
自己株式	△ 500	△ 500
評価・換算差額等	1,475	1,265
その他有価証券評価差額金	1,475	1,265
純資産合計	55,085	52,548
負債純資産合計	77,739	75,361

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	66,517	64,749
売上原価	40,812	39,558
売上総利益	25,704	25,190
販売費及び一般管理費	21,368	20,937
営業利益	4,336	4,253
営業外収益	513	344
営業外費用	179	198
経常利益	4,670	4,398
特別利益	53	—
特別損失	9	373
税引前当期純利益	4,713	4,024
法人税、住民税及び事業税	1,432	972
法人税等調整額	403	765
当期純利益	2,878	2,287

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

株式の概況 (平成26年3月31日現在)

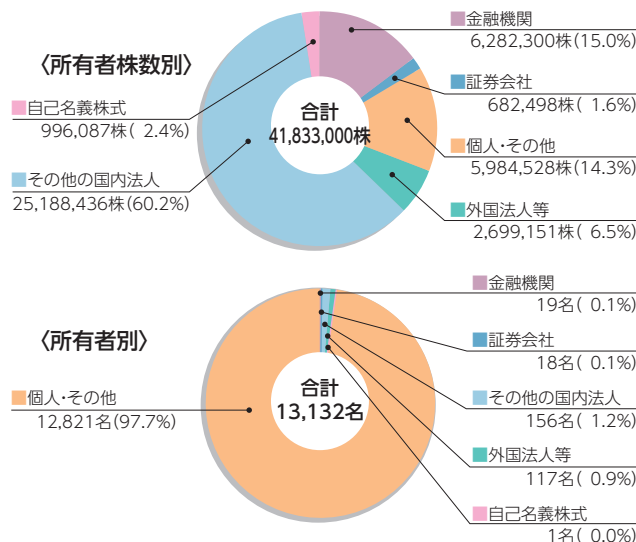
■発行可能株式総数	144,000,000株
■発行済株式総数	41,833,000株
■株主数	13,132名
■大株主	

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900 株	14.9 %
株式会社テレビ朝日	3,877,600	9.3
公益財団法人香雪美術館	2,930,000	7.0
学校法人帝京大学	1,554,000	3.7
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.6
日本生命保険相互会社	1,130,800	2.7
大阪瓦斯株式会社	1,065,000	2.5
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	848,000	2.0
近鉄バス株式会社	800,000	1.9
株式会社竹中工務店	776,600	1.9

剰余金の配当に関する事項

		当 期 (平成26年3月期)	前 期 (平成25年3月期)
1株当たり 配当金	中間期末	普通配当 6円	普通配当 4.5円
	期 末	普通配当 特別配当 6円 4円	普通配当 特別配当 4.5円 3円
	年 間	16円	12円

株式分布状況 (平成26年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第2部

証券コード 9405

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://asahi.co.jp>)

■ 会社の概況 (平成26年3月31日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	650名
事業内容	放送法によるテレビ放送事業 およびラジオ放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)
東京支社	〒104-0045 東京都中央区築地五丁目3番2号 朝日新聞新館10階
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目14番7号 RICCO栄9階
パリ支局	52 Avenue des Champs-Élysées 75008 Paris,FRANCE
上海支局	Rm.721 Shanghai Central Plaza, 381 Huai Hai Rd.(M),Shanghai,CHINA 200020



本社の社屋

■ 役員 (平成26年6月26日現在)

代表取締役社長	脇阪 聰史
代表取締役副社長	和田 省一
常務取締役	冲中 進
常務取締役	山本 晋也
常務取締役	松田 安啓
取締役(社外取締役)	山口 昌紀
取締役(社外取締役)	坂井 信也
取締役(社外取締役)	尾崎 裕
取締役(社外取締役)	小林 研一
取締役(社外取締役)	持田 周三
取締役(社外取締役)	吉田 慎一
取締役	金澤 一
取締役	千原 邦義
取締役	梅田 正行
取締役	緒方 謙
常勤監査役	山本 良生
常勤監査役	三上 正弘
監査役(社外監査役)	野村 正朗
監査役(社外監査役)	佐藤 茂雄
監査役(社外監査役)	平澤 正英

テレビネットワーク

ANN (All-nippon News Network)



ラジオネットワーク

JRN (Japan Radio Network)

HBC 北海道放送	MBS 毎日放送
RAB 青森放送	WBS 和歌山放送
IBC 岩手放送	BSS 山陰放送
ABS 秋田放送	RSK 山陽放送
TBC 東北放送	RCC 中国放送
YBC 山形放送	KRY 山口放送
r f c ラジオ福島	JRT 四国放送
BSN 新潟放送	RNC 西日本放送
YBS 山梨放送	RNB 南海放送
TBS <small>ラジオ</small> ラジオ福島	RKC 高知放送
SBS 静岡放送	RKB 毎日放送
KNB 北日本放送	OBS 大分放送
MRO 北陸放送	NBC 長崎放送
FBC 福井放送	RKK 熊本放送
CBC 中部日本放送	MBC 南日本放送
ABC 朝日放送	RBC 琉球放送

NRN (National Radio Network)

S T V ラジオ	KBS 京都放送
HBC 北海道放送	ABC 朝日放送
RAB 青森放送	MBS 毎日放送
IBC 岩手放送	OBC ラジオ大阪
ABS 秋田放送	WBS 和歌山放送
TBC 東北放送	BSS 山陰放送
YBC 山形放送	RSK 山陽放送
r f c ラジオ福島	RCC 中国放送
BSN 新潟放送	KRY 山口放送
YBS 山梨放送	JRT 四国放送
CRT 栃木放送	RNC 西日本放送
IBS 茨城放送	RNB 南海放送
文化放送	RKC 高知放送
ニッポン放送	KBC 九州朝日放送
SBS 静岡放送	OBS 大分放送
KNB 北日本放送	NBC 長崎放送
MRO 北陸放送	RKK 熊本放送
FBC 福井放送	MBC 南日本放送
東海ラジオ	ROK ラジオ沖縄

朝日放送のあゆみ

1951年 (昭和26年)	3月15日 11月11日	朝日放送株式会社設立 ラジオ本放送開始
1955年 (昭和30年)	5月25日	大阪テレビ放送株式会社(OTV)設立
1956年 (昭和31年)	12月 1日	OTVテレビ本放送開始
1959年 (昭和34年)	6月 1日	朝日放送・大阪テレビ放送合併
1960年 (昭和35年)	9月10日	テレビカラー放送開始
1961年 (昭和36年)	10月 1日	株式を大阪証券取引所第二部に上場
1966年 (昭和41年)	6月 1日	大阪市大淀区に社屋移転
1969年 (昭和44年)	10月10日	株式会社ホテルプラザ開業 (1999年3月31日閉鎖)
1975年 (昭和50年)	3月31日	テレビネットワーク変更 ANN(All-nippon News Network)に加盟
1978年 (昭和53年)	11月23日	ABCラジオ周波数変更 1010kHzから1008kHzに
1979年 (昭和54年)	3月21日	テレビ音声多重放送開始
1982年 (昭和57年)	10月14日	日本初のクラシック音楽専門ホール ザ・シンフォニーホール開館 (2013年12月31日譲渡)
1985年 (昭和60年)	10月 1日	ABCゴルフ倶楽部オープン
1986年 (昭和61年)	4月 1日	文字放送(アナログテレビ)開始
2003年 (平成15年)	12月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
2008年 (平成20年)	6月23日	大阪市福島区に社屋移転(現社屋)
2011年 (平成23年)	7月24日	アナログテレビ放送終了 地上デジタルテレビ放送に完全移行
2013年 (平成25年)	7月16日	市場統合により 東京証券取引所第二部上場に移行

関連会社一覧

(株)エー・ビー・シーメディアコム

通信販売業務、ラジオ番組制作、音楽出版

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス2階
Tel.(06)6458-8811

(株)エー・ビー・シーリブラ

TV番組企画・制作、映像の保存・保管

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス5階
Tel.(06)6452-3666

(株)ABCゴルフ倶楽部

ゴルフ場運営

〒673-1313 兵庫県加東市永福933-20
Tel.(0795)47-1000

(株)スカイ・エー

CS放送事業

【本 社】〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス5階
Tel.(06)6452-1161

【東京支社】〒104-8011 中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社新館11階

エー・ビー・シー開発(株)

総合住宅展示場運営、HDC運営、保険代理店業、広告代理店業

【本 社】〒553-0003 大阪市福島区福島6-20-12
Tel.(06)6451-1111

【東京支社】〒103-0022 中央区日本橋室町1-9-12 共同ビル2階

(株)デジアサ

デジタルコンテンツ制作、字幕制作

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス6階
Tel.(06)6457-6701

(株)アイネックス

制作技術、ポストプロダクション

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス4階
Tel.(06)6452-2018

(株)エー・ビー・シー興産

警備・受付業務

〒553-0003 大阪市福島区福島2-4-3 ABCアネックス4階
Tel.(06)6451-9155

ABC
<http://asahi.co.jp>